

広報

第78号



日大山形

令和5年4月25日発行

Spring has come.

夢の扉を開こう



入学式

令和五年度 入学式

「立志は特異を尚ぶ」

～大いなる志を抱き、自主創造への新たな一歩を踏み出そう～

山形市ではソメイヨシノが観測開始以来最速タイで満開となった翌日の四月六日、令和五年度の入学式が新入生三三二名を迎えて挙行された。これから始まる高校生活に期待と不安を併せ持ちながらも、しっかりと前を見つめながら堂々と入学式に盛大な拍手が送られ、新時代を築いていく新入生への期待も感じられた。「自主創造」の理念のもとで自己実現に向かう一人ひとりのこれからの大いなる飛躍に期待したい。

校長式辞

山々からの風も柔らかさを増し、木々の緑が芽吹く今日佳き日、令和五年度日本山形高等学校入学式を挙げるにあたり、日本大学学長酒井健夫先生のご臨席を賜うすとともに、桜華同窓会会長藤田宏次殿、保護者会（会長山口敦昭）をはじめとする「来賓並びに役員各位、そして、多くの保護者各位」の列席をいただきましたことは、私どもにとりましての上ない喜びであり、教職員を代表しより御礼申し上げます。

さて、この度めでたく本校に入学を許可されました三三二名の新入生の皆さん、「入学おめでとう」ございます。皆さんの入学を心よりお祝い申し上げます。また、保護者の皆様には、お子様方の「入学を心よりお喜び申し上げます。」（ご）に集う三三二名の新入生の皆さんは、九か年の義務教育を無事修了し、日本山形高等学校という新たなステージに立つ仲間であり、この出会いを大切に、本校生徒として気持ちをついに、充実した三年間を過ごしてください。

ところで、日本大学は時の司法大臣山田顕義伯爵によって、明治三年に創立された「日本法律学校」を起源とし、創立百三年後の現在におきましては、一六学部八六学科を有する日本最大の総合大学へと発展し、今もなお

進化を続けております。そして、皆さんが入学された本校は、一九五八年に創設され、四年後（一九六二年）には、日本大学の正付属校となり、現在に至っております。本校は、創設五周年目を迎える歴史の中で、日本大学の教育理念である「自主創造」の精神、「自ら学ぶ」「自ら考える」を実践し、「自ら道をひらく」を体現するため、「知育・徳育・体育」のバランスのとれた全人教育を展開しております。そして、三万九千人を超える卒業生は、県内はもとより、国内外、各界、各方面で活躍しております。最近では、三月に行われたWBWC（ワールド・ベースボール・クラシック）日本代表「侍ジャパン」として、活躍した卒業生の中野拓夢選手が、特筆されることでもあります。中野拓夢選手は、高校時代から努力家であり、文武両道実践しながら、二年次に甲子園ベスト四に導く活躍、三年次はキャプテンとしてチームを牽引する働

きを、青春を謳歌しておりました。今回の世界大会での優勝は誠にうれし限りです。

歴史ある日本大学とその付属高校である本校の伝統を引き継ぎ、新たな歴史の継承者となる皆さんに、これからの三年間の学校生活で実践してほしいことを、私から二つお話しいたします。

第一に「志を立てよ」ということです。日本大学の創立者香山田顕義先生は、「四歳の元服の折、幕末の思想家吉田松陰先生から『立志は特異を尚ぶ』一志を立てる時に人異なることを恐れてはいけない。目標を高く持ちなさい」との薫陶を受け、その後的人生は大きく変えていきました。松陰先生は「たとえ、志を立てたとしても、人と同じような平凡な志では意味がない。大きな望みを持つことを恐れてはいけない。大きな志は、大きな人格を形成する」と説いたのです。つまり「志を立てる」ということは、「夢の実現に向かって進もうとする気概（強い心意気を持つ）」ことであり、「自己の生きるべき道を決断する」ということでもあります。また、本校の校歌は、「ボーイズ・ビー・アンビショラスから始まる」といって、皆さんもよく知っているクラーク博士の有名な言葉で「少年よ大志をいだけ」と訳されています。若者は大きな志を持って世に出よ」という意味です。クラーク博士もまた松陰先生と同様、目標を達成するために、大きな志を持



学長祝辞 酒井 健夫 学長



校長式辞 中園 健二 校長

ことが重要だ」と説いているのです。この「大きな志」と持つことは、変化が著しく先きが不透明な現代の社会を力強く生き抜く「確かな力」となります。新入生の皆さん、皆さんには輝かしい未来が開かれています。大きな志を持って本校で学び、部活動に取り組み、友と大いに交わり、広く社会に目を向けて、夢の扉を開いてください。本校の校歌には、そういう願いが込められているのです。しかしながら、いつの時代にも私たちの前途には、平穩無事な未来だけが待ち受けているわけではありません。長い人生の中では幾多の逆境を乗り越え、艱難辛苦を克服しなければ、前に進むことができない状況も巡ってきます。そのような時にこそ、「確かな志」が必要となります。揺らぐことのない「確かな志」は、変化の著しく、先きが不透明な現代の社会を力強く生き抜く「確かな力」となるのです。この三年間の学校生活の間にも、どうか皆さん一人ひとりの「確かな志」を見出して下さい。

二つ目は「良き友を見つつけよ」ということです。この「良き友」というのは、ただいっしょに行動させる「仲間」ということではありません。論語の中に、「益者三友」という言葉があります。「益者三友」とは、交際して自分のためになる友人に、三種類あるということです。まず物事や交友関係の中で、自分に対して率直に真実を言ってくれる「正直な友」。次に、もう一人は誠意や正しさを教えてくれる、人の心を思いやる心を持った「誠実な友」。最後が、心惹かれるような教養を持っている「博識な友」です。正直な友「誠実な友」「博識な友」そんな友人に恵ま

れば、自らが友人と共に成長でき、学校生活が楽しくなることは間違いありません。では、どうすればそのような友人を得られるでしょうか。そういう素晴らしい友人は「どこにいるのか」と周りを探してはいけません。周りを探すのではなく、自分が友人にとって、ためになる友人になろうとするのです。「自分自身が友人に対して、率直に『正直』に本音を語ろうとする。『自分自身が友人の気持ちや思いやりの心を持って、誠実に理解しようとする。』『自分が疑問に思うことを積極的に調べて、多くの『知識』を持つ人間になれるよう努力する。』このような気持ちで学校生活を送れば、仲間と切磋琢磨し、影響し合い、素晴らしい交友関係ができるでしょう。同時に、そういう皆さんへの心は、自分自身の人間性を磨いて、人から信頼される人格を作っていくでしょう。

「人は『努力』の数だけ強い心をつくり『思いやり』の数だけ交友をつくり『感謝』の数だけ人生の味方をつくること」ができる。

どうか皆さん、三年後に高校を卒業する時には、一人ひとりがかけがえない友の存在を自覚できるように、充実した学園生活を送ってください。日本山形高等学校は、そういう皆さんを全力でサポートしていきます。

次に保護者の皆様方に申し上げます。本日、私たち教職員一同は、皆様の大切なお子様をお預かりいたしました。これからお子様は、自立への道を歩むこととなります。心優しく、たくましく人に育ち、夢を実現してくれることには、保護者の皆様と私たち教職員の共通の願いであります。お子様の自立と大切な夢の実現に向けて、学校と生徒、そしてご家庭とが「三位一体」となり、連携を深め教育活動に取り組んでまいりますと存じます。つきましては、何卒、本校の教育方針をご理解いただき、今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さん、本校の三年間の学校生活において情熱を持って学び、将来自分がやりたいことを見つ



新入生宣誓 岡本 悠生 (白鷹中)

令和五年四月六日
日本山形高等学校長
中園 健二

令和五年度 第一学年担当教員

- | | |
|------------|-----------|
| 主任 | 松浦 正治 (国) |
| 副主任 | 永野 勝久 (数) |
| 一組 | 矢作 直樹 (数) |
| 二組 | 村田 亨 (保体) |
| 三組 | 高木 直哉 (地) |
| 四組 | 野口 敏広 (地) |
| 五組 | 伊藤 遼 (英) |
| 六組 | 瀬井 徹 (英) |
| 七組 | 羽田 夏美 (家) |
| 八組 | 奥山 秀則 (国) |
| 九組 | 斎藤 陽平 (理) |
| 十組 | 林 勝久 (数) |
| 副担任 | 林 彦彦 (数) |
| ◇学年所属教員 | |
| 宮内慶太郎 (国) | |
| 林 唯 (国) | |
| 近藤 皓介 (地) | |
| 鳴海竜太郎 (教) | |
| 吉田 貴行 (理) | |
| 東村 文子 (保体) | |
| 木村 恵李 (英) | |
| 中島 章乃 (英) | |

令和四年度卒業式

令和五年三月一日、本校第一体育館にて、第六三回卒業式が挙行された。おだやかな春の陽光が降り注ぐ中、三〇一名が学び舎を巣立った。卒業生の前途に幸多かれと祈る。

卒業式にあたり、在学中に各方面で顕著な成績をあげ、各賞を授与された生徒の氏名をここに掲載する。

受賞者

一、学長賞(学業部門)

大石 茉奈(山形三中)

総務員・文化部部长
佐藤 亜海(沖郷中)

総務員
金沢 竜大(上山北中)

二、学長賞(学術・文化部門)

ダンスドリル部

後藤健太郎(山形七中)
島貫 巧海(赤湯中)

代議員議長
川合理緒那(高橋中)

代議員副議長
品川 愛結(山形二中)

三、優秀賞(体育部門)

四釜 瑞己(山形六中)

代議員書記
佐藤 光紗(山形四中)

高橋 采伽(山大附中)

四、優等賞

大石 茉奈(山形三中)
佐藤 亜海(沖郷中)
佐藤 光紗(山形四中)
井上 遙太(山形三中)
山川 隆介(山形五中)

五、皆勤賞

保体委員長
須藤 黎(山形二中)

六、精勤賞

環境整備委員長
梅津 康生(米沢一中)

七、学校長賞

図書委員長
木村 太郎(山形一中)

八、大久保・矢野賞

女子部専門委員長
金野 光留(山形十中)

(1) 功労賞

生徒会会長
矢萩 結衣(葉山中)

會田 峰士(陵南中)

運動部部长 長内 皓音(西川中)

(2) 努力賞

小原希々颯(天童一中)
八嶽 誓心(明倫中)
前田 妃(東根二中)
門真 ゆり(赤湯中)
石黒 佳子(山形二中)
大河原菜香(山形六中)
後藤健太郎(山形七中)
工藤 快智(陵南中)
岡崎 結斗(蔵王一中)
齋藤 颯太(山大附中)

(3) 体育賞

野球部
井上 朝陽(日新中)



学長祝辞 学長代理 大貫進一郎 副学長



学長賞 大石 茉奈(山形三中)

柔道部
山崎 拓斗(陵東中)

バドミントン部
相馬 悠人(山形五中)

陸上競技部
山口 泰輝(天童一中)

男子バスケットボール部
佐藤 志琉(山形六中)

ボクシング部
木村 陽菜(山形六中)

剣道部
野口将太郎(山形六中)

サッカー部
佐藤 吏矩(天童三中)

男子バレーボール部
長内 皓音(西川中)

水泳部
太田 獅音(天童四中)

スキー部
五十嵐 玲最(上中)

ソフトテニス部
佐藤 琉緯(新庄中)

三浦理彩子(山形一中)

男子テニス部
遠藤 大空(朝日中)

卓球部
椎名 隆仁(陵南中)

男子ハンドボール部
千場 昂多(山形六中)

女子テニス部
武蔵 玲奈(天童四中)

女子ハンドボール部
大江 誓羅(尾花沢中)

ゴルフ部
大石 恵輝(天童一中)

(4) 文化賞
生物部
仲野 恭兵(天童一中)

英会話部
早坂 夏夕(山形十中)

美術部
広京 健一(山形六中)

書道部
小出 浩輔(天童一中)

音楽部
佐藤 亜海(沖郷中)

吹奏楽部
櫻井 泰喜(蔵王二中)

演劇部
須藤あゆみ(山形一中)

写真部
佐藤 朝陽(楯岡中)

漫画部
鈴木 元子(山形六中)

ダンスドリル部
湯田亜玖里(山形一中)

JRC部
齋藤 麗奈(山形二中)

(1) 栄光のメダル
ボクシング部 一名

(2) スキー部
銀メダル 一名
スキー部 一名
水泳部 一名
ゴルフ部 一名

(3) 銅メダル
野球部 三名
ボクシング部 七名
サッカー部 二名
剣道部 一名
陸上競技部 一名
水泳部 二名
男子テニス部 五名
スキー部 四名
女子テニス部 一名
ゴルフ部 一名

(4) 文化賞メダル
生物部 一名
吹奏楽部 六名
ダンスドリル部 八名

十一、学外賞
日本私立中高連理理事長賞
生徒会長
會田 峰士(陵南中)



担任を先頭に入場

部活動報告

運動部

男子バスケットボール部

・高校選手権大会 三位
・地区新人大会 三位
・県新人大会 ベスト8

サッカー部

・高校サッカー選手権大会山形県大会
・地区新人大会 優勝
・地区一年生大会 三位
・東北新人大会 出場

剣道部

・地区新人大会
男子団体 三位
男子個人 ベスト8
男子団体 出場
男子個人 出場

バドミントン部

・地区新人大会
男子団体 出場
女子団体 出場
女子個人 出場

陸上部

・県高校駅伝競走大会
男子 総合六位
(金子・布川・茂木・中村・松田・遠・松田朋・安達)

卓球部

・県高校新人大会 団体戦 出場
・冬季リーグ戦 団体戦(二部) 七位

ボクシング部

・国民体育大会
ピン級 安食 諒哉(陵南中)
ミドル級 稲葉 駿(山形六中)
バンタム級 三回戦進出 琉星(山形十中)

【女子】ピン級 二位 福田 有里(蔵王一中)
男子バレーボール部
・地区新人大会 ベスト8
・全国私学大会 決勝トーナメント出場

ソフトテニス部

【男子】
・地区秋季大会 個人 二回戦出場
・県新人大会 個人 出場

スキー部

・県高校スキー大会
【男子】
優勝 中村 騎士(豊橋中部中)
二位 佐藤 裕人(大東中)
三位 五十嵐瑞希(みずき中)
二位 小川 竜司(三鷹中)
三位 佐藤 裕人(大東中)
五位 中村 騎士(豊橋中部中)

水泳部

・東北新人大会
【男子】
優勝 M平泳ぎ 陽(天童二中)
二位 佐藤 陽(天童二中)
二位 M背泳ぎ 陽(天童二中)
三位 伊藤 太一(金井中)
四位 Mメドレーリレー
六位 伊藤・佐藤・熊倉・黒沼

男子テニス部

・県新人大会
団体 優勝(小川・羽柴・岩田・小川・ミラー・後藤・山口・朝倉・富樫)
個人 シングルス
優勝 小川 郁哉(山辺中)
二位 富樫 琢磨(東根一中)
四位 山口 陽生(赤湯中)

女子テニス部

・県新人大会
団体 優勝(小川・羽柴・岩田・小川・ミラー・後藤・山口・朝倉・富樫)
個人 シングルス
優勝 小川 郁哉(山辺中)
二位 富樫 琢磨(東根一中)
四位 山口 陽生(赤湯中)

男子ハンドボール部

・県新人大会 ベスト8

ラケットボール部

・県新人大会 一位(合同チーム)
・東北新人大会 一位(合同チーム)

【女子】
松田弥咲(野崎中)
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)
【男子】
松田弥咲(野崎中)
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)

【女子】
松田弥咲(野崎中)
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)
【男子】
松田弥咲(野崎中)
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)

【女子】
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)
【男子】
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)

【女子】
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)
【男子】
山田りこ(白馬中)
吉田 梓乃(水上中)

- ゴルフ部**
 - ・全国高等学校・中学校ゴルフ選手権秋季東北大会
 - 〔男子〕 二位 工藤 颯太 (神町中)
 - 出場 馬場 道成 (山形六中)
 - 〔女子〕 二位 金村 旭朗 (山形二中)
 - ・東北高等学校六県対抗戦
 - 〔男子〕 二位 (工藤・馬場・金村)
 - 〔女子〕 二位 (工藤・馬場・金村)
 - ・全国高等学校ゴルフ選手権春季大会
 - 出場 工藤 颯太 (神町中)
- 女子テニス部**
 - ・県新人大会
 - 団体 二位 シングルス
 - 三位 齋藤 和伽 (中山中)
 - ・東北選抜高等学校テニス大会
 - 団体 六位
 - ・東北インドアテニス選手権山形選考会
 - ダブルス 齋藤 和伽・原田えりな
 - 五位 齋藤 和伽・原田えりな
 - 五位 佐藤 彩乃・佐藤 愛音
 - ・東北インドアテニス選手権(シニア)二戦
 - 出場 齋藤 和伽・原田えりな
 - ・佐藤 愛音・小野寺莉緒
 - ・全国選抜大会
 - シングルス 二回戦進出
 - ・全国選抜大会
 - 齋藤 和伽 (中山中)
 - ・東北私立高等学校テニス選手権大会
 - 団体 優勝
 - ・東北春季ジュニアテニス大会
 - 出場 シングルス 原田えりな (山形三中)
 - U18シングルス 齋藤 和伽 (中山中)
 - 出場 齋藤 和伽 (中山中)
- 女子ハンドボール部**
 - ・県新人大会 優勝
 - ・全国選抜大会山形県予選会 優勝
 - ・東北選抜大会 出場
- 吹奏楽部**
 - ・村山地区アンサンブルコンテスト 金賞
 - ・山形県アンサンブルコンテスト 銀賞
 - ・村山地区高等学校吹奏楽合同演奏会 出演
- 美術部**
 - ・県高校総文祭 努力賞 渡部 百合 (天童二中)
- 写真部**
 - ・県高校総文祭 総合文化祭賞
 - ・横山 彩乃 (山形三中)
 - ・優秀賞 樋口 悠希 (山形七中)
 - ・優秀賞 若木 美羽 (山形七中)
 - ・山形県高校生フォトコンテスト
 - ・大石芳野賞 大石 悠生 (山形六中)
- 文化 部**
 - ・山形県立文芸クラブ賞
 - 入選 天野 徳佳 (東根一中)
 - 平吹 愛空 (東根三中)
 - 彩依 (天童四中)
- 生物部**
 - ・県高校総文祭 出場
 - ・山形県探型学習課題発表会 出場
 - ・サイエンスチャレンジ2022 東北大会 出場
- 演劇部**
 - ・日大山形・山形南冬季合同公演 開催
- 書道部**
 - ・県高校総文祭 入選 五位
- 放送部**
 - ・第二九回山形県高校コンテスト 新人大会
 - ラジオオキヤンペーン部門 優勝
 - ラジオオキヤンペーン部門 二位
 - ビデオメッセージ部門 優勝
 - ・第二六回東北高校放送コンテスト
 - ラジオオキヤンペーン部門 出場
- ダンスドリル部**
 - ・全国高等学校ダンスドリル冬季大会2023
 - JAZZ部門 Small編成 出場
 - SONG/POM部門 Small編成 出場
 - M.S. SOLO部門 一年生 出場
 - M.S. SOLO部門 二年生 出場
 - USA Regional 東北大会
 - オープン部門 三位
 - ・ダンスドリル秋季競技大会東北大会
 - JAZZ部門 Small編成 優勝
 - SONG/POM部門 Small編成 優勝
 - M.S. SOLO部門 一年生 優勝
 - M.S. SOLO部門 二年生 優勝
 - 田苗 妃叶 (山形六中)
 - 鈴木 琴葉 (山形一中)
 - 二位 齋藤 愛心 (山形一中)
 - 出場 齋藤 愛心 (山形一中)
- 「各種表彰」**
 - ・日本大学付属高等学校等第三九回文芸コンクール
 - 俳句 佳作 東海林柑那 (山形五中)
 - 詩 佳作 加藤 誉陽 (河北中)
 - 佳作 第一回お弁当甲子園 入選 小関 愛心 (大石田中)
 - 鈴木 日優 (山形五中)
 - 橋本 京花 (山形五中)
 - 学校賞 鎌倉女子大学賞

進路指導室より

卒業生301名の進路状況は4年制大学200名(66.4%)、短期大学7名(2.3%)、省庁大学校1名(0.3%)、専門学校61名(20.3%)、就職11名(3.7%)であった。

令和4年度卒業生は新型コロナウイルス感染が始まった年に入学した生徒たちで、学校行事や部活動とともに授業や模擬試験、オープンキャンパス等も大きく制限を受けた学年であった。しかしながら、基礎学力到達度テストや大学入学共通テストの問題傾向を見通した学習を早期から積み重ね、また各種推薦入試や公務員・就職試験に向けた努力を計画的に行い、上記のような進路目標達成を図ることができた。先生方の親身で熱心な指導と生徒一人ひとりの努力で達成できたことを自分の糧として、今後のさらなる飛躍にも期待したい。

令和4年度 主な 合格実績

※延べ人数
※()内の数字は、過年度生で内数
令和5年4月1日現在

日本大学	108名
(医学部付属看護専門学校含む)	
法学部	7名
文理学部	10名
経済学部	11名
商学部	10名
芸術学部	2名
国際関係学部	6名
危機管理学部	2名
スポーツ科学部	1名
理工学部	19名
生産工学部	12名
工学部	5名
歯学部	1名
松戸歯学部	2名
生物資源科学部	11名
法学部二部	4名
医学部附属看護専門学校	5名

国立大学・短期大学 14(1)名

山形大学	人文社会科	2名
	地域教育文化	1名
	工	1名
	農	1名
秋田大学	理工	1名
新潟大学	工	2名
宮城大学	事業構想	2名
秋田県立大学	システム科学技術	1名
山形県立保健医療大学	看護	1(1)名
山形県立米沢女子短期大学	国語国文	2名

日本大学以外の 私立大学・短期大学 132(8)名

早稲田大学	1名
明治大学	2(1)名
中央大学	1名
法政大学	3名
岩手医科大学	1(1)名
仙台大学	2名
東北医科薬科大学	4名
東北学院大学	16名
東北福祉大学	7名
宮城学院女子大学	6名
東北芸術工科大学	7(2)名
東北公益文科大学	2名
東北文教大学	2名
新潟医療福祉大学	2名
国際医療福祉大学	2(1)名

城西大学	1名
聖徳大学	1名
工学院大学	1名
東京国際大学	2名
國學院大學	1名
駒澤大学	1名
順天堂大学	2名
専修大学	2名
帝京平成大学	1名
東海大学	3名
東京家政大学	1名
東京工科大学	4名
東京農業大学	3名
東京薬科大学	2名
東洋大学	2名
日本歯科大学	2(1)名
明治学院大学	1名
神奈川大学	1名
フェリス学院大学	1名
京都芸術大学	1名
近畿大学	3名
仙台青葉学院短期大学	2名
東北文教大学短期大学部	1名
など	

専門学校 58名

大原スポーツ公務員専門学校山形校	2名
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校山形校	3名
山形医療技術専門学校	1名
山形県立産業技術短期大学校	1名
山形厚生看護学校	2名

山形歯科専門学校	2名
山形美容専門学校	4名
SENDAI中央理容美容専門学校	2名
仙台医健・スポーツ専門学校	2名
仙台大原簿記情報公務員専門学校	3名
仙台デザイン&テクノロジー専門学校	1名
仙台徳洲看護専門学校	1名
仙台ビューティーアート専門学校	2名
仙台リゾート&スポーツ専門学校	2名
東京法律公務員専門学校仙台校	1名
東北文化学園専門学校	2名
福島医療専門学校	2名
千葉労災看護専門学校	1名
首都医校	1名
早稲田美容専門学校	1名
北里大学保健衛生専門学校	2名
など	

就職 13名

自衛官一般専候補生	2名
自衛官候補生	3名
株式会社マツキ	1名
東北電化工業株式会社	1名
日新製薬株式会社	1名
など	

省庁大学校 1名

水産大学校	1名
-------	----

海外留学 4名

学年主任あいさつ

「なりたい自分」を目指して



第一学年主任
松浦 正治

約三週間がたちました。生活のリズムをつかみ、高校生活をスムーズにスタートできていることと思います。人生には数多くの出会いと別れがあります。中学校を卒業して、この日本大学山形高等学校に入学したのはその出会いの一つ。

少し先の未来に思いを向けて、今、目の前にあることに全力で取り組みましょう。夢がある人はそれをかなえるために、まだ夢が見つかっていない人はそれが見つかった時にかなえられるように。高校と中学校の違いはオリエンテーションで担任の先生からも聞いたと思います。君たちの頭脳・身体・感性の成長とともに必要な変化です。学習・部活動・生徒会活動に精一杯取り組み、自分の可能性を広げ追究してほしいと願っています。

楽しんで、頑張って、将来を意識しよう



第二学年主任
首藤 裕二

学校の一員となり一年が過ぎました。中学生から高校生になったことで何が変わったでしょうか、何を覚えてきたでしょうか。年度終わりに、各クラスで振り返りを行い、一人ひとりが一年前に立てた目標の評価を行ったことと思います。高い目標を設定し、もう少しで達成できた、と思える一年を過ごせましたか。目標は達成したけれど、もう少し高い目標でもよかったかな、など、目標設定自体に反省点があった人もいませんか。いずれにせよ、高校生活も残り二年、卒業後の進路を考えると、いよいよ進路目標の決定と具体的な取り組みをはじめなければいけない時期にはいりました。コロナ対応の変化に伴い、多くの学校・社会行事が復活し、活動の場が広がっていくことが予想されます。修学旅行もあり。多くの経験や刺激を受けながら、自分の将来を意識した日々を送ってほしいと思います。

達成感ある最終学年のために



第三学年主任
伊藤 恵二

早くも最終学年を迎えました。この一年間で人生の中でどの分野で活躍していくかという大きな方向性が決まると言えます。なんとなくではなく、自分の人生を豊かに実り多いものにするためにはどうあるべきかを、今考えなければなりません。

すぐには確かな答えにたどり着けないとしても、求める気持ちを抱き続けることで、人間は少しずつ前進するものです。自己実現を可能とする進路や、よりよくあるための自分自身の在り方をしっかりと見つめる一年としましょう。求め続けた結果を自身の高校生活の成果として心に携えて、門出の日を迎えられることを期待します。成人として好意的に社会に迎えられるよう、一緒に歩みを進めていきましょう。

新任教職員紹介 お世話になります



大久保 貞 治事務長

日本大学本部学生部就職課より令和四年一〇月一日付けで異動してまいりました。初任より付属高等学校に関わり、勤務の三分の二を付属高等学校で過ごしてまいりました。私の経験を活かして、山形高等学校に貢献していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



福井 正 人 経 理 長

本年一月二二日付けで経理長を拝命しました。本部財務部との兼務のため、定期的に東京から通わせていただくこととなります。皆様と一緒に生徒の成長を見守るとともに、教育環境の充実のお手伝いできればと思います。よろしくお願ひします。



前田 湧 作 先生(数 学)

本年度より、二学年の担任を務めます。二年七組、二学年数学、男子ハンドボール部に関わる皆さんも、そうでない皆さんも、教科面・生活面で相談があれば気軽に話しかけてください。



伊 藤 遼 先生(英 語)

英語が好きという人にも英語が嫌いと思う人にも「楽しい！」と思ってもらえる授業ができれば良いと思います。精いっぱい頑張りますのでよろしくお願ひします。



林 唯 先生(国 語)

日本山形高校の皆さん、初めまして。お会いできるのを楽しみにしていました。担当は国語ですが、国語以外の話もたくさんしましょう。よろしくお願ひします。



近 藤 皓 介 先生(地歴・公民)

三月に大学を卒業し、母校で勤務させていただきます。学ぶ楽しさを伝え、実生活にいきる授業ができるよう取り組んでいきます。よろしくお願ひいたします。

異動・退職 教職員紹介

大変お世話になりました。ありがとうございました。

○異動

田中 和仁さん (事務長兼経理長)

異動先

日本大学総務部

秘書室特任次長

○退職

藤江 孝司さん (財務部次長兼)

経理長事務取扱

遠藤 淳一先生 (国語)

加藤 圭将先生 (国語)

藤田 和子先生 (地歴・公民)

横田 純一先生 (地歴・公民)

竹田 智子先生 (数学)

齋藤真理子先生 (英語)



活躍・功績を
称えて



松田弥咲妃

令和四年度の山形県スポーツ賞・県スポーツ協会表彰において、スキー部の松田弥咲妃(野崎中)が栄誉賞を受賞した。二年次に出場した全国高校選抜スキー大会では、女子大回戦で優勝を果たした。三月に本校を卒業し、大学進学後も競技を続けていく。更なる飛躍を期待して止まない。

- (受賞者一覧)
- 県スポーツ賞
- ◆栄光賞 齋藤 元希さん (水泳・平成二八年度卒)
 - 佐藤 博輝さん (水泳・平成一九年度卒)
 - ◆功労賞 榎 寿一さん (剣道・元本校教員)

勇躍
全国大会入賞

スキー部

- ◆松田弥咲妃(野崎中) 四位 全国高等学校スキー大会 女子回転
- 四位 国民体育大会冬季大会スキー競技少年女子大回転
- ◆吉田 梓乃(水上中) 二位 全国高等学校スキー大会 女子大回転
- 四位 全国高校選抜スキー大会 女子大回転
- 六位 全国高校選抜スキー大会 女子回転
- ◆山下りこ(白馬中) 十位 全国高等学校スキー大会 女子回転
- 三位 全国高校選抜スキー大会 女子スーパード大回転
- ◆佐藤 裕人(大東中) 九位 全国高等学校スキー大会 男子大回転
- ◆安食 諒哉(陵南中) 二位 全国高等学校ボクシング選抜大会 男子ピン級
- ◆福田 有里(蔵王一中) 二位 全国高等学校ボクシング選抜大会 女子ピン級



福田 有里

一学年
探究発表全体会

二月一八日に二学年クラス代表による探究発表全体会が開催された。一学期に探究学習の進め方や発表の仕方について学び、夏休み期間を通して各班調査・研究を行った。九月に中間発表を行い、意見交換を踏まえてさらに検討を重ねて二月のクラス発表会に臨んだ。

今回の全体会は、各クラスから選出された代表二班合計一八班が発表会場に分かれ、二学年生徒と教職員を前にこれまでの研究の成果を発表した。代表者はとても生き生きと発表しており、参観者たちは興味深い発表に真剣に耳を傾けていた。大学の講義で学んだプログラミングを活用しての課題解決型の発表も見られ、主体的な学びを深めることができたのではないかと感じている。

年度を通して行われた探究学習から得た経験は、将来の大学での研究や職場でのプレゼンテーションに必ず活かして行くはずだ。来年度の探究学習でも、生徒たちの意欲的な取り組みに期待したい。



- 全体会テーマ一覧
- ・男脳と女脳の違い
 - ・味噌汁について
 - ・コロナの影響による経済・医療にかかわる問題
 - ・地産地消
 - ・電気自動車は環境にとってよいのだろうか
 - ・日本の教育に足りないものは何か
 - ・デイズニリーゾートが人気の理由とは
 - ・二〇二七年にコロナが終息したとしたら、コロナ以前の生活に戻るのか？
 - ・目覚まし時計は効果があるのか
 - ・一四〇km/hプログラム
 - ・極上の睡眠をとるためにインターネットにおける犯罪にかかわる問題
 - ・人は内面か外面どちらが大切か
 - ・校則について
 - ・人間がAIに超えられないようにするには
 - ・ジャンケン必勝法
 - ・日本人が謙虚なのはなぜか
 - ・マイコンを使ってプログラミング(自転車の転倒検知)

九州修学旅行

一二月一六日から四泊五日の日程で、二年生は三つの隊に分かれ、九州修学旅行を行った。今年度も修学旅行の実施の可否について十分に議論を重ね、生徒の健康と安全を確保する準備を整えた上で、修学旅行に臨んだ。訪問予定地の歴史や多様な文化に関して十分に事前学習に取り組んだことと、生徒一人ひとりが目的意識を明確にして修学旅行へと出発することができた。現地では、しおりで行程や注意事項をこまめに確認しながら、学校行事の一環であること、集団行動の秩序を守ることなどを改めて意識している様子が見受けられた。さらに級友と寝食を共にし、普段の学校生活とはひと味違う多くの学びを得ることができたようである。五日間の行程を経て、平和学習・現地の歴史や文化を直に感じることで、「グローバル社会で主体的に活躍・貢献できる素養を身につける」という修学旅行の目的を果たすことができたのではないだろうか。真摯に、そして思いきり楽しみながら旅程を過ごした。

一二月一六日から四泊五日の日程で、二年生は三つの隊に分かれ、九州修学旅行を行った。今年度も修学旅行の実施の可否について十分に議論を重ね、生徒の健康と安全を確保する準備を整えた上で、修学旅行に臨んだ。訪問予定地の歴史や多様な文化に関して十分に事前学習に取り組んだことと、生徒一人ひとりが目的意識を明確にして修学旅行へと出発することができた。現地では、しおりで行程や注意事項をこまめに確認しながら、学校行事の一環であること、集団行動の秩序を守ることなどを改めて意識している様子が見受けられた。さらに級友と寝食を共にし、普段の学校生活とはひと味違う多くの学びを得ることができたようである。五日間の行程を経て、平和学習・現地の歴史や文化を直に感じることで、「グローバル社会で主体的に活躍・貢献できる素養を身につける」という修学旅行の目的を果たすことができたのではないだろうか。真摯に、そして思いきり楽しみながら旅程を過ごした。



- 主な行程
- 一日目…大洗平和記念館
 - 二日目…ハウステンボス
 - 三日目…長崎平和公園 原爆資料館 長崎市内班別研修
 - 四日目…クラス別研修
 - 五日目…太宰府天満宮

ている生徒たちの姿から、その充実度が大きいに窺えた。

令和5年度 部活動体験会	
第1回 8月5日(土)	第2回 8月11日(金・祝)
集え、中学生！日大山形の熱い部活動を体験しよう。	

令和5年度 学校説明会	
第1回 9月30日(土)	第2回 10月21日(土)
第3回 11月12日(日)	第4回 11月26日(日)
第5回 12月2日(土)	
全体説明会、特進コース説明会、個別相談、校舎見学、部活動見学などを実施予定です。	

※部活動体験会、学校説明会ともに詳細は後日、本校ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

※上記以外の期日に学校参観を希望なさる方は、お電話の上ご来校ください。
(☎023-641-6631 担当/矢作・橋本)



野球のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）日本代表となった中野拓夢選手（阪神タイガース）の活躍を称え、中山町の山形県野球場（ヤマリョースタジアム山形）に、本校野球部OB会による横断幕が設置されました。中野選手、感動をありがとうございました！今シーズンの活躍を祈念申し上げます。

フオト・ア・ラ・カイト



卒業式



教室にて



恩師と共に



入学式



初めてのホームルーム



新入生オリエンテーション

日本大学山形高等学校広報部
〒990-1243 山形市鳥居ヶ丘四一五五
電話 〇二三一六四一一六六三二(代)
FAX 〇二三一六四一一六六三四
URL https://www.yngc.hs.nihon-u.ac.jp
印刷 (株)大風印刷
写真提供 フォトイシヤマ



探究学習発表会



修学旅行（長崎市）



図書館展示

多くの方々のご協力により、「広報日大山形」七八号を発行することができました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症防止を行いながらも少しずつ以前の学校生活に戻り、多くの学校行事を行うことができました。これは感染症対策を講じるとともに、少しでも充実した学校生活にしたいという思いを生徒と教職員がもち、協力しあえたからこそかと思えます。今年度は更に充実した学校生活になることを願っております。制作にあたりご協力いただきました先生方、生徒の皆さんに、心から感謝申し上げます。

編集後記